

主な地域連携推進事業選定例一覧

地域連携を推進するための補助金事業に選定された大学の取り組みを紹介する。
今後、これらの事業に応募しようという大学、地元との地域連携の形を模索している大学は参考にしてほしい。

〈内閣官房・内閣府〉地方大学・地域産業創生交付金									
分野	事業名	申請自治体	大学等	企業等	概要	KPI	期間	2018年度交付決定額／2018年度交付対象事業費	総事業費
製造業 (製薬)	「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造計画	富山県	富山大学、富山県立大学	北陸経済連合会、富山県商工会議所連合会、富山県経営者協会、富山県薬業連合会等	▶「世界の薬都」スイス・バゼル地域をモデルに、「くすりのとやま」のブランドを確立すべく、富山大学、富山県立大学、県薬事総合研究開発センター、県薬業連合会等が連携。製剤分野、創薬分野(免疫学)等に重点化し、医薬品生産金額1兆円をめざす	▶産学官金労言および外部有識者からなる「とやま未来創造県民会議」においてPDCAサイクルによる事業の検証を実施▶医薬品産業の医薬品生産金額の増加額3,600億円▶医薬品産業の雇用者数の増加数4800人▶サマースクール受講生の地元就職累計48人▶県内大学卒業生の地元就職数の増加累計238人▶(富山大学)西洋医学と伝統医学の統合分野を含む、組織対組織の連携協力協定等の締結数の増加累計19件、トップレベル人材の招へい、海外大学とのダブルディグリープログラムの整備、大学院教育組織を一体的・抜本的に再編、医薬理工連携教育部(仮称)を設置等▶(富山県立大学)国際学会・シンポジウムの開催数累計10回、トップレベル人材の招へい、生物工学研究センターを「生物・医薬品工学研究センター」に改組・拡充、大学院修士課程の生物工学専攻を「生物・医薬品工学専攻(仮称)」に改組・定員増等	5年間	6.6億円／10.2億円	47億円
製造業 (航空宇宙)	日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発	岐阜県	岐阜大学、岐阜工業高等専門学校	各務原市、岐阜県研究開発財団、川崎重工業(株)航空宇宙システムカンパニー、ナプテスコ(株)航空宇宙カンパニー、恵那機器(株)、(株)水野鉄工所、日本プレス工業(株)、川崎岐阜協同組合、(株)大垣共立銀行、(株)十六銀行	▶航空宇宙産業の地域中核産業としての発展と、同産業に関連する就業者の増加、特に若者雇用の創出を図るため、人材育成・研究開発拠点「航空宇宙生産技術開発センター」を岐阜大学に整備し、国内初となる航空宇宙産業の生産技術に関する体系的な教育と生産技術の最先端研究を実施する	▶航空宇宙産業の製造品出荷額の増加額2644億円▶航空宇宙産業の雇用者数の増加数2000人▶生産技術人材育成プログラム受講生の地元就職・起業数216人▶岐阜大学内に航空宇宙生産技術開発センターを設置▶航空宇宙産業の労働生産性の上昇率18%▶研究成果の現場導入数累計33件▶研究開発事業による特許出願数累計40件▶生産技術人材育成プログラムを受講する高専生・社会人技術者数累計105人	5年間	7530万円／1.2億円	26.7億円
製造業 (鉄鋼)	先端金属素材グローバル拠点の創出—Next Generation TATARA Project—	島根県	島根大学、松江工業高等専門学校	日立金属(株)、SUSANOO、協同組合島根県鐵工会、(株)山陰合同銀行等	▶島根の素材力(超耐熱合金)を生かして、エンジンなどの重要部材の受注拡大をめざし、新素材の開発と新技術の確立を進める▶世界最大級の生産拠点である、アモルファス合金箔(優れた磁気特性により世界最高クラスの省エネ性能を持つ製品を生み出す金属材料)の難加工性を克服し、産学官が連携してアモルファスマーターコアの量産化技術を確立し、生産拠点化を実現する▶島根大学内に、先端素材共同研究所(仮称)を設置▶学部や大学院の改組により金属材料に特化した教育体制を整備するとともに、インターンシップ、実践的なMOTプログラム、英語による工学授業など魅力のある人材育成プログラムを開発▶事業拡大と「学」の高度専門人材育成の取り組みを運動させることで、当地域での若者の雇用創出と人材育成の好循環を創出	▶特殊鋼関連産業の売上額の増加額730億円▶特殊鋼関連産業の雇用者数の増加数680人▶専門人材育成プログラム受講生の地元就職・起業数50人▶2019年地元企業との産学連携の拠点として「先端素材研究所」を設置▶2020年他分野学生をものづくり専門人材に育成する「副専攻プログラム」を開発▶2021年大学院自然科学研究科理工学専攻に、マテリアル創成工学コースを設置▶2022年総合理工学部を改組し、マテリアル創成工学科を設置	5年間	1.5億円／2.4億円	60億円
製造業 (輸送用機械器具)	ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム	広島県	広島大学、県立広島大学、広島市立大学	中国経済連合会、広島県商工会議所連合会、(株)広島銀行	▶広島を自動車に関する独自の技術と文化を追い求める人々が集まり、世界を驚かせる技術と文化が持続的に生み出される聖地にする▶産業・行政・教育が一体になり、イノベーションを起こす人材をあらゆる世代で育成することにより、ものづくりを通じて地域が幸せになる▶広島ならではの産学官連携モデルが日本における「地方創生」のリードモデルとなり、世界のベンチマークとなる	▶輸送用機械器具製造業の生産額の増加額8600億円▶輸送用機械器具製造業における雇用者数の増加数4233人▶専門人材育成プログラム受講生の地元就職数50人▶2027年度広島大学に「情報科学プログラム(仮称)」および「デジタルイノベーションプログラム(仮称)」を設置▶モデルベース開発等の導入企業数累計90社▶「デジタルものづくり研究センター」における研究プロジェクトへの参画者数180人▶エクステンションプログラムの受講者数72人▶モデルベースリサーチ等に関する論文数および学会発表数累計500件	5年間	6.9億円／10.6億円	50.6億円
光関連産業	次世代「光」創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画	徳島県	徳島大学、四国大学、阿南工業高等専門学校	とくしま産業振興機構、日亜化学工業(株)、日本フネン(株)、徳島県商工会議所連合会、徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会、徳島県経済同友会、徳島県経営者協会、徳島県農業協同組合中央会、(株)阿波銀行、(株)徳島銀行、(株)日本政策金融公庫、徳島県信用保証協会	▶「光科学を学ぶなら徳島!」「光産業を仕事にするなら徳島!」と「光」をめざして若者が集う徳島の実現に向け、若者の修学および就業の促進、光関連産業をはじめとした地域の活力の向上および持続的な発展、地方創生の実現を図るため、現状・課題をふまえ、中長期的な地域の将来像を描き、その実現のために、地域の産学官の各主体が総力を挙げ一丸となって達成をめざす	▶光関連産業の製造品出荷額等の増加額1700億円▶光関連産業の雇用者数の増加数5300人▶専門人材育成プログラム受講生の地元就職・起業数累計125人▶ポストLEDフォトニクス研究所設置▶トップレベル研究者招へい▶分野横断型大学院「創成科学研究科」を創設	5年間	6.2億円／10.6億円	50.1億円
農業 (施設園芸農業)	“IoP(Internet of Plants)”が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化	高知県	高知大学、高知工科大学	高知県農業協同組合中央会、高知県園芸農業協同組合連合会、高知県工業会、(株)四国銀行、(株)高知銀行、高知県IoT推進ラボ研究会	▶「次世代型施設園芸システム」を、多様な園芸作物の生理・生育情報のAIによる可視化と利活用を実現する「IoP(Internet of Plants)」等の最先端の研究により、「Next次世代型」として飛躍的に進化▶作物生産を決定づける光合成等の生理情報に基づく生育予測や営農管理等を可能とすることで、本県の施設園芸農業の「超高収量・高品質化」「超省力化・省エネルギー化」「高付加価値化」を促進し、若者が夢や希望を叶えられる持続可能な産業として飛躍的な発展を図る▶農業分野において、政府が掲げる「Society5.0」の実現につなげる▶Next次世代型ハウスに装備する機器やシステムを開発し、県内だけでなく、県外・海外にも販売していくことで、施設園芸関連産業群の創出・集積を図る▶トップレベルの人材招へいによる最先端の研究と運動した新たな教育プログラム▶施設園芸農業やアグリフードに関する最先端の研究を行う人材や高度な技術や知識を持った農業の担い手を育成▶取り組みを通じて、若者の定着・増加をめざす	▶施設園芸の労働生産性を5年後に5%アップ、10年後に20%アップ▶売り上げ3000万円以上の販売農家戸数を5年後に4割増加、10年後に倍増▶野菜の産出額を5年後に56億円増加、10年後に130億円増加▶農業現場への雇用就業者を累計で5年後に430人増加、10年後に1000人増加▶Next次世代型ハウスに装備する機器・システムの2018年度からの累計販売額を5年後に16.5億円、10年後に100億円▶専門人材育成プログラムの受講生の地元就職・起業数を累計で5年後に40人、10年後に100人▶IoP研究に関連する学術論文数を累計で5年後に50編、10年後に100編▶(高知大学)キラリと光る地方大学としての広報(広告換算値)を5年後に2.5億円、10年後に4.5億円、大学院(修士課程)への社会人および留学生受け入れ人数を累計で5年後に48人、10年後に113人	5年間	4.8億円／6.8億円	42億円
製造業 (産業用ロボット)	革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命実現プロジェクト	北九州市	九州工業大学	北九州産業学術推進機構、(株)安川電機、(株)福岡銀行等	▶産業用ロボットのトップメーカーである(株)安川電機とロボット関連技術に強みを持つ九州工業大学を中心に、人と同じ作業ができる自律作業ロボットの研究開発を行い、地域の中小企業も含めたものづくり企業の生産性革命を起こすプロジェクト▶本市に整備予定の「安川テクノロジーセンター」(仮称)と九州工業大学が連携して研究開発を行う▶北九州学術研究都市に整備する「北九州市生産性向上支援センター」(仮称)では、最先端技術を地域企業に導入するとともに、研究開発を現場環境で検証し結果をフィードバックすることで実用性の高い研究成果につなげる▶九州工業大学は企業と連携し高い技術を生かした研究開発を進めるとともに、現場で活躍できる人材の育成を行う▶中小企業の現場におけるロボット導入を進める現場主義・実践主義のプログラムを実施	▶市内ロボット関連産業の売上高を10年間で倍増、3200億円▶市内ロボット関連産業の雇用者数の増加数10年間で300人▶専門人材育成プログラム受講生の地元就職数年平均増加率9%▶(九州工業大学)2018年度情報工学科に「ロボティクスコース」を設置、2019年度工学科に「インテリジェンスロボティクスモジュール」を設置、共同研究講座10講座、クロスポイントメント適用10人▶先導設備等導入計画認定件数の増加数3年間で250件▶ロボット産業専門人材の育成輩出の増加数10年間で400人▶北九州市内大学生等の地元就職率30%をめざす▶九州工業大学に所属する知能ロボティクス研究者数を5年間で国内トップレベル(3位以内)に▶九州工業大学と世界的産業用ロボットメーカーの論文の引用件数(FWCI)を2022年に2.79に	5年間	1350万円／2600万円	120億円

*2018年度事業選定分。「地域における大学振興・若者雇用創出事業に関する計画の認定について」(内閣府)を基に編集部で作成

〈文部科学省〉私立大学等改革総合支援事業タイプ5プラットフォーム形成

プラットフォーム名称	参加大学等	自治体・企業等	主な取り組み
キャンパス・コンソーシアム函館	函館大学、函館短期大学、函館大谷短期大学、ロシア極東連邦総合大学函館校(専修学校)、北海道大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部、北海道教育大学教育学部函館校、函館工業高等専門学校、公立はこだて未来大学	函館市、函館商工会議所	▶単位互換・集中講義制度 ▶合同公開講座「函館学」▶高等教育機関合同研究発表会HAKODATEアカデミックリンク開催▶図書館連携▶出前講義▶合同SD・IR研修▶第15回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催(全国大学コンソーシアム協議会と共催)
青森市産官学連携プラットフォーム	青森明の星短期大学、青森大学、青森中央短期大学、青森中央学院大学、青森公立大学、青森県立保健大学	青森市、青森商工会議所	▶共同オープンキャンパス▶共同学生募集▶地元の資源を生かしたヘルスツーリズムの開発▶ロサンゼルスねぶた参加▶共同FD・SD▶共同研究▶AOMORISIX合同研究・学修発表会▶防災のあり方検討会議▶企業セミナーなど
宇都宮市創造都市研究センター	宇都宮共和大学、文星芸術大学、作新学院大学、帝京大学、宇都宮大学	宇都宮市、宇都宮商工会議所、宇都宮市商店街連盟、トヨタウッドユーホーム、宇都宮まちづくり推進機構、とちぎユースサポートネットワーク	▶地域就職支援センターを設置し、形成大学学生の地元就職を支援▶社会人キャリア形成プログラムを策定し、社会人リカレント教育に取り組み、地域から求められる人材の育成▶高等教育の質の向上に向け、教育課程の共同編成等について協議▶第1回「創造都市宇都宮都市圏」記念イベントの開催(〜クリエイティブシティア・シンポジウム・産学官連携による創造都市を目指す特色ある地域づくり)▶宇都宮市創造都市研究センター開設記念「シティライフシンポジウム」▶クリエイティブシティア・フォーラム〜アーティスト・若者の集うまちづくり〜
静岡市文教エリア等の発展に向けた相互連携協議会	常葉大学、静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、常葉大学短期大学部、静岡英和学院大学短期大学部、静岡県立大学短期大学部	静岡市、静岡商工会議所、I Love しずおか協議会	▶学生の地域連携活動▶教育面での連携▶教職員の交流▶産学官連携の研究推進▶学生支援▶学生募集活動での連携▶地域住民支援▶学生の就職活動促進▶地域のリスクマネジメント体制の検討・構築
豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム	中京大学、日本赤十字豊田看護大学、愛知工業大学、豊田工業高等専門学校	豊田市、一般社団法人ツーリズムとよた	▶学生によるまちづくりの提案▶学生ラグビーワールドカップボランティア▶豊田市役所へのインターンシップ▶トヨタ自動車ラグビー部へのインターンシップ▶地域住民の体育館、運動施設等の利用促進▶学生消防団による防災活動▶高校、小中学校への出前授業▶地域の子どもへの体づくり教室、子どもスポーツフェスタ▶地域住民への公開講座▶プラットフォームによる共同のFD・SD
大学コンソーシアム京都	立命館大学、大谷大学、龍谷大学、京都産業大学、佛光大学、京都光華女子大学、京都ノートルダム女子大学、京都学園大学、京都橘大学、京都光華女子大学短期大学部、大谷大学短期大学部、京都文教大学、京都外国語大学、平安女学院大学短期大学部、平安女学院大学、嵯峨美術短期大学、京都精華大学、京都女子大学、京都造形芸術大学、嵯峨美術大学、京都文教短期大学、大阪医科大学、京都華頂大学、華頂短期大学、成安造形大学、京都外国語短期大学、花園大学、龍谷大学短期大学部、京都美術工芸大学、放送大学、京都薬科大学、種智院大学、同志社大学、同志社女子大学、明治国際医療大学、京都情報大学院大学、京都医療科学大学、京都看護大学、池坊短期大学、京都西山短期大学、京都経済短期大学、京都聖母学院短期大学、京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都府立大学、京都府立医科大学、福知山公立大学	京都府、京都市、京都商工会議所、京都経済同友会、京都経営者協会、京都工業会	▶大学間連携による教育プログラムの充実(単位互換事業、インターンシップ事業、生涯学習事業、高大連携事業)▶大学の発展を支える教職員の育成(FD事業、SD事業、障がい学生支援事業)▶大学のまち京都・学生のまち京都活性化(学生交流事業、都市政策関連事業)▶国際交流プログラムの充実(留学生支援・交流促進、留学生受け入れ体制の強化、学生の海外派遣、グローバル化に対応した大学教職員の育成)▶調査・研究機能の再構築
ひょうご産官学連携協議会	明石工業高等専門学校、芦屋大学、芦屋学園短期大学、大手前大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸医療福祉大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、神戸薬科大学、神戸山手大学、神戸山手短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子短期大学部、宝塚大学、宝塚医療大学、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫医療大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、流通科学大学	兵庫県、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業家同友会等	▶留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)▶県内企業の海外事業展開に係る留学生生活事業▶大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職支援事業▶模擬国連演習▶学生海外派遣プログラム▶兵庫県英語プレゼンテーション・コンテスト▶学生プロジェクト事業「キッズフェスティバル」▶学生ボランティア事業▶防災・災害復興支援学生ボランティア育成事業▶FD・SDセミナー▶コンソ加盟校教職員を対象とした講演会・研修会の開催▶単位互換事業▶高大連携事業(ひょうご高校大学コンソーシアム)▶兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
とっとりプラットフォーム5+α	鳥取短期大学、鳥取看護大学、鳥取大学、公立鳥取環境大学、米子工業高等専門学校	鳥取県、倉吉市、鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県看護協会	▶正規雇用1万人チャレンジ計画の推進会議への参加▶県内企業の共同就職フェアの推進▶県内高等教育機関のパネルを高校内へ展示推進▶単位互換科目の検討協議▶eラーニング授業の検討、実施、広報、調査▶とっとりインターンシップフェスティバル、合同企業説明会の開催▶地域学科目(鳥取学等)eラーニングの導入▶講座内容、講師、会場の協議検討会議の開催▶受講生に対するアンケート調査実施▶女性雇用に関する共同研究の支援▶中部地震復興会議への参画▶リスクマネジメント体制に関する共同研究の支援▶少子化対策の共同研究の支援▶産業人材育成センター委託事業の推進▶履修証明プログラムの導入検討▶社会人の学びやすいくみの導入と推進(共同研究支援)▶共同FD・SD研修会の実施▶子ども食堂・学習支援に関する合同説明会、募集チラシの作成
九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム	西九州大学、西九州大学短期大学部、佐賀女子短期大学、長崎短期大学、長崎国際大学、長崎総合科学大学、活水女子大学、長崎外国語大学、九州龍谷短期大学、長崎ウエスレヤン大学、長崎女子短期大学、精華女子短期大学、香蘭女子短期大学、長崎純心大学、長崎大学、佐賀大学、長崎県立大学	長崎県・佐賀県・佐世保市、長崎経済同友会、佐賀県商工会議所連合会	▶「大学教育の質向上」「地域活性化のための人材育成」「地域ニーズへの対応」を3つの柱として、地域課題解決のために、「健康・医療・福祉」「子ども育成」「国際交流・観光・まちづくり」「地域産業活性化」の4つのアプローチから地域と協働して事業推進する。具体的には、IT環境を活用した教材開発、自治体との健康づくり活動、子どもの貧困問題等の共同研究、地域観光の研究、防滅災プログラムなど

*2017年度事業選定分。2018年度では上記に加え、新たに世田谷プラットフォーム、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜、大阪府内地域連携プラットフォーム、大学等による「おおいの創生」推進協議会、山形県未来創造プラットフォーム、めぶく、プラットフォーム前橋、ちは産学連携プラットフォーム、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム、金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム、福井県産学官連携プラットフォーム、プラットフォームふじのくに地域・大学コンソーシアム、彦根・長浜地域における学術文化教育基盤形成を目的とした大学・短期大学・地域連携プラットフォーム、大学コンソーシアム熊本が選定されている

〈内閣官房・内閣府〉地方と東京圏の大学生対流促進事業

事業名	申請大学／協働大学	事業概要	具体的な取り組み	交付額
うまげなかがわ 感じてみまい！ うどん県住みます学生プロジェクト	香川大学／芝浦工業大学	香川大学創造工学部および芝浦工業大学デザイン工学部は、「デザイン思考」「創造的なデザイン能力」の育成という点で共通する部分が多い。香川大学が課題とする「国際的な視野」の養成を芝浦工業大学の「グローバルPBL」で補い、また芝浦工業大学が課題とする「自治体との連携」や「日本における地域課題の解決をめざした取り組み」については、香川大学の「インターンシップ科目」「瀬戸内地域活性化プロジェクト」や「産学協創工学」で補う。香川大学が実績を有するeラーニングや、「瀬戸内国際芸術祭」「東京オリンピック」などそれぞれの地域に特有のイベントに関連したプロジェクトも実施する	▶4泊5日の日程で、小豆島の課題発見・解決をテーマにしたフィールドワーク実施(香川大学生9人、芝浦工業大学生28人) ▶半年程度の長期プログラムでは、香川大学で地域を題材とした授業科目やフィールドワーク型科目の展開、地域企業との共同研究を実施(芝浦工業大学生4人) ▶3月には、東京オリンピックをテーマにしたフィールドワークや色彩をテーマにしたグローバルPBLを実施	3000万円
沖縄創生まじゅんプロジェクト	関東学院大学／沖縄大学	▶遠隔システムによる2大学同時開講科目、副専攻制度等の短期プログラムの設置により沖縄志向を高める学生対流を促進する▶共生・共創という理念の同じ2大学が地方公共団体や企業と連携し、観光資源発掘や地場産業体験型学修等の社会をフィールドとした独自プログラムを構築し、沖縄の魅力発信に寄与する▶地域の魅力に触れるだけでなく、沖縄式地域円卓会議等の場を通じて実際に政策提案を行うなど、講義形式にPBLを組み合わせたプログラムにより、地域が抱える課題解決に貢献できる地域リーダーを育成する	▶相互に1年間国内留学しながら自治体や企業と連携。2018年度は関東学院大学の学生は4人、沖縄大学の学生1人がこの制度に参加▶夏期休業期間を利用した短期で参加が可能な「沖縄魅力発見プログラム」に、関東学院大学の学生が6人参加▶2019年度後期より沖縄大学と関東学院大学の同時遠隔中継で履修可能な「地域創生特論(沖縄)」開講▶「地場産業(泡盛)体験型学修」「観光資源発掘実践プログラム」で沖縄の魅力発信に取り組み他、「子どもの貧困対策実践プログラム」「沖縄式地域円卓会議」では沖縄固有の課題に地域と協力して政策提案を行う▶2018年10月から事務職員の相互派遣スタート	1579.3万円
フィールドから学ぶ産学官協働3大学地域人材育成プロジェクト	大正大学／静岡産業大学、島根大学	東京圏にある大正大学と地方に所在する静岡産業大学および島根大学とが協働し、学生を対流等させることで、産学官連携によるフィールドワークや単位互換を前提とする科目履修を行い、現在地域が抱えている諸問題の発見と課題解決に向けて、提案力の養成を行う。また、こうした事業を契機としてさらなる大学間ネットワークを構築・拡大していくことによって、学生の交流を深め、東京の学生が地方へ遠流・定着し、地域創生をけん引する高度で知的な職業人として活躍する人材の輩出をめざす	▶長期プログラム(単位互換)は秋に40日間の地域学習としてその地域の事業学習と現地視察を行うとともに、静岡県藤枝市では静岡産業大学の、島根県益田市では島根大学の地域学を中心とした学びを修める。また、両地域からの学生は東京に滞在し、豊島区でフィールド学習および大正大学での授業を履修する▶短期プログラムは夏と春の年2回、静岡県藤枝市、島根県益田市で、それぞれ5日間の調査、実習、ヒアリング等の活動を行う	3580万円
東京から沖縄へ、沖縄創生のための課題解決型人材育成プログラム	法政大学／沖縄大学、名桜大学	沖縄を理解するうえで、固有の文化・歴史を学ぶことは不可欠であり、また、地域振興・持続可能な社会の構築のためには、産業構造や自然環境・災害の理解が重要である。本プロジェクトでは、東京圏と沖縄、沖縄の本島と離島の関係を比較研究し、沖縄の抱える課題を考え関心を喚起することで、沖縄への人の流れを創出する。そのために、沖縄を理解・体験する PBLをベースに、3大学の幅広い学び、地域連携プログラム、「沖縄」「千代田区」をフィールドとした課題解決型フィールドワークを通じて、比較研究も取り入れつつ、沖縄の持続可能な社会の構築を実現する人材を育成する。加えて沖縄に若者が根付くことを目的としたインターンシップを実施する	▶1年または半年の単位互換長期学生交流プログラム ▶沖縄と千代田区を比較研究する課題解決型短期フィールドワーク(各1週間) ▶東京で沖縄の持続可能な発展を考える「沖縄の魅力発見シンポジウム」 ▶沖縄県内でのインターンシップ	2048.8万円
「Mirai プロジェクト」を中心としたやまなしキャリアデザインの推進	山梨県立大学／拓殖大学	「グローバルな知の拠点」をめざす山梨県立大学が、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」における「地域教養」および「ツーリズムコース」の教育プログラムを活用し、「地域に根ざす大学」をめざす拓殖大学との協働により、長期は実践型授業科目「Mirai プロジェクト」、短期は「やまなし未来計画フォーラム」を中心とした地元企業などとの交流機会を提供する。また、国際協力、観光、農業およびデザインなどの専門的な教育プログラムを持つ拓殖大学は、山梨県立大学の学生に専門的な学びの機会を提供することで実践教育の質の向上を図る。以上により、相互にメリットのある連携関係を構築する	▶山梨県の魅力を発信し、伝えることを目的とした、情報発信の拠点としてCasaPrismaを設置▶6つのMiraiプロジェクトを担当教員および外部コーディネーターにより実施▶空き家で「つながる住まい」プロジェクトで新たな空き家活用の提案▶外国人観光客向けに「日常」を体験するツアーの企画・実施▶地域資源の掘り起こしと学生視点での新商品の開発サポートを行う笛吹市八代地区活性化プロジェクト▶芦川活性化プロジェクト▶物語・ストーリーの再発見／再編集／再構築を通じたブランディング実践▶学生主体のまちづくり活動合同ゼミ「新しい地方創生のカタチづくり」	3000万円
桜の大学間交流が創り出す「インバウンド都市沖縄」振興プロジェクト	桜美林大学／名桜大学	これまで桜美林大学と名桜大学で行われてきた大学間交流事業を進展させ、沖縄の産業振興に向けた大学間交流とし、日本一のインバウンド都市沖縄の担い手となるようなカリキュラム設計を両校で設け、沖縄の産業振興に貢献できる人材を送り出すプロジェクトを実施する	▶1年または半年の長期プログラム「SAKURA沖縄プロジェクト科目」 ▶桜美林大学の科目「地域社会参加(沖縄学入門)」履修者が事前学修した内容を現地で1週間、体験実習する独自の短期研修プログラム	917.9万円

*2018年度事業選定分